

第80回環境審議会でのご意見と市の考え方について

成果指標について

委員名	ご意見	市の考え方
藤倉委員	成果指標は、なるべく市民アンケートに頼らない方がよいと思います。	ご意見いただきありがとうございます。
根本委員	p.31 脚注e 細かいですが、シーオーツ→シーオーツででしょうか。	ご指摘いただきありがとうございます。修正いたします。
	p.45「生きものの多様性」の指標は、実際の何らかの「生きものの数や種類」がカウントできればよいですが、サンプリング的な調査となって網羅性に欠ける指標となる可能性もあります。ですので比較のための目標指標としてではなく、例えば「市民協働による生きもの調査」の「調査結果の一部」（例：〇〇年の調査では絶滅危惧種の◇◇が町田市内で確認されました、〇〇年の調査では◇◇を△△匹確認することができました等）を、この「調査への参加者数」に加えた補足的な情報として、コラムなどで公表してはいかがでしょうか。	ご意見いただきありがとうございます。生きもの調査に関する補足的な内容は環境白書等で情報発信することを検討いたします。
	p.55 指標のうち、「総資源化率」には「生ごみのメタン化」のみで、サーマルリカバリーは含めないこと、また「ごみ焼却による温室効果ガス排出量」を加えてくださったことを評価したいと思います。	ご意見いただきありがとうございます。
渡邊委員	・市内の温室効果ガス排出量（2030年度）約33%削減について資料2（素案）のP2に東京都の策定する「ゼロエミッション東京戦略2020 Update & Report」についての記述がありますが、ここでは「2030年までに温室効果ガス排出量を半減（2000年度比）」とされています。これを基準に町田市の目標値もせめて50%削減とし、それを踏まえて他の成果指標についても目標値を修正する必要があるのではないのでしょうか。都の基準年度が2000年度、町田市は2013年度であることを考えると、50%よりさらに高い目標でもよいと考えます。成果指標一覧に記載の出典「オール東京62 提供資料」より、2000年度の50%は620千t-CO2となり、2013年度比で約58%削減となるので、この際60%削減で設定してみてはどうでしょうか。	ご意見いただきありがとうございます。削減量の根拠としては、現時点における国の地球温暖化対策計画を参考に目標値を算出しています。本計画では前計画の反省を踏まえ、根拠に基づく目標を立てる予定です。国や都の目標は、現時点では削減根拠が出ていないため、現状の目標設定としております。
	・市内の再生可能エネルギー導入量（2030年度）約20%増加についてNHK（web）で、経済産業省は、脱炭素社会の実現に向けて、2030年の再生可能エネルギーの発電見込みの量を、2019年度に比べておよそ1.7倍になる試算をまとめたとのニュースが出ていました。この試算を考えると、20%よりさらに高い目標でもよいと考えます。2019年度の1.7倍ということで、64,000kWとしてはどうでしょうか。	ご意見いただきありがとうございます。再生可能エネルギーの導入量についてはFIT認定の発電設備の目標値として過去10年の実績値を基にトレンド推計による目標値を算出しております。

重点プロジェクトについて

委員名	ご意見	市の考え方
根本委員	<p>重点プロジェクトの1～5の実施と成果がとても楽しみです。特に、世界的な要請である再エネと電化、町田市の特徴である里山から生態系サービスの恩恵を知る、農と食育による地域活性化、食品ロス削減と社会経済格差の是正策のマッチングなど、今日の複数の重要課題にもそれぞれアプローチされています。特に重点プロジェクト4の地産地消をメニュー商品アプリとの提携で実施する例は新しく、かつ行政・事業者・市民の協働プロジェクトであり、市民の誰もが参加できる取り組みでもあったと思います。ぜひ各プロジェクトの進展状況などをSNSでお知らせください。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。重点プロジェクトは環境白書での進捗を公表する予定です。また、基本目標5の積極的な情報発信に関連して、SNS等で随時情報発信を行う予定です。</p>
	<p>重点プロジェクトにこれに使い捨てプラスチック削減が入ればより良かったですが、これは次期の見直しなどで重点プロジェクトとして追加されることを期待します。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。計画の中間見直しの際の動向・情勢等を踏まえて検討させていただきます。</p>
木村委員	<p>以前にも書きましたが、重点プロジェクトの項目はとても良いと思います。プロジェクト3の里山。項目において、市民の役割は消費&利用だけでなく、市民も積極的に保全活動に関われる仕組みが必要ではと思います。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。ご指摘のとおり、市民団体等での保全活動も重要と考えておりますが、今回の重点プロジェクトでは、現段階では利活用を中心とした内容とさせていただきます。重点プロジェクト3は現在策定中の(仮称)里山環境活用保全計画と整合を図っていることから、委員ご指摘の部分について、関連課と情報の共有と検討をさせていただきたいと思えます。</p>
渡邊委員	<p>前回から大幅に修正され、全体に見やすくなり、プロジェクトイメージもわかりやすくなりました。 ・重点プロジェクト1のロードマップでは、助成金制度の調査・検討・設計に5年間、運用が2027年度からになっていますが、こんなに何年間もかかるものなのでしょうか。</p>	<p>ロードマップの記載内容や期間については、引き続き関連課とも調整をして精査をしていく予定です。また、事業を進めていくうえで、必要があればロードマップも見直す予定です。</p>

その他のご意見

委員名	ご意見	市の考え方
藤倉委員	<p>今さらで恐縮ですが、望ましい環境像の「みんなで将来に受け継ぐ水とみどり豊かなまちだ」の、「受け継ぐ」は、日本語として用法がおかしいかもしれません。受け継ぐは、譲り受ける、継承するなどが類義語になる、受け継ぐ側が用いる言葉ではないかと思います。ウェブの辞書では、「前の人が残した仕事などを引き受けて行う。また、ある人の性質や意志などを引き継ぐ。継承する。「伝統工芸を一・ぐ」「母親の気性を一・ぐ」となっています。別の辞書では、受け継ぐは「自分の感情や意志で引き受ける」ともあります。要するに、この環境像の「みんな」は、現代代なので、受け継ぐという言葉が適当か？という点について、確認をお願いします。（「継ぐ」だけならよいかもしれません。「受け」がつくと、受け取る側にならないか、という懸念です。）</p>	<p>町田市の特徴である「水とみどり」を過去から現在（我々もすでに過去から受け継いでいる）へ、現在から未来へみんなで受け継いでいくという想いをこめたものとして設定しております。</p>
	<p>これも今さらですが、「基本目標5」の「取組方針」には、「NPOとの連携・協働」がありませんね。市(行政)－市民、という関係だけに見えます。あとは大学との連携だけ。ちょっともったいない。事業者も同様（事業者団体との関係性が見えない）。</p>	<p>基本目標5 施策[1] 取組方針⑥の「大学等」には、市民団体や事業者団体との連携を含めた取組を進めていく予定です。</p>
根本委員	<p>全体として大幅にわかりやすくなっています。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。</p>
	<p>今頃で大変申し訳ないのですが、文言について1点のみお願いできれば幸いです。p.3「前計画における振り返り」地球温暖化の防止の「達成目標の評価」の2行目を （前）また、市民全体への・・・ （後）一方で、まだ市民全体への・・・（「た」ではなく「だ」←濁点） としてはいかがでしょうか。理由は、二酸化炭素排出量削減目標の達成の手段として、原発の再開ではなく、再エネ普及を強調するためです。この記述の前の箇所には「普及啓発等を・・・行ないましたが、東日本大震災以降の原子力発電停止の影響等により『二酸化炭素排出量の削減』の目標達成が厳しい状況・・・」とあります。実際の理由でもあり、また国やほかの自治体でもこの説明が記載されることが多いですが、ここだけ読むと「では二酸化炭素削減のためには原子力発電を再開すればよい」との印象を与えます。原子力発電の問題は、気候変動対策からだけでは評価できません。本マスタープランの再エネ普及目標との整合性のためにも、大変微妙な修正ですけれども、上記変更をお願いできればと思います。</p>	<p>ご指摘の文言を修正いたします。</p>
宮下委員	<p>全体的に良く纏められ、わかり易いものとなっていると思います。 前回の資料提示から見ると格段の向上であり、事務局のご努力に敬意を表したい。 今回の委員会でご委員から出された細かい部分については、更に精度を高めて頂き、市民・事業者から支持され、多くの方々自身のこととして行動できるものとなることを願っております。 最後まで宜しくお願い致します。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。審議会いただいた意見を反映させ、より良い計画となるように進めてまいります。</p>

木村委員	基本目標1施策[3]の自転車利用。。と基本目標4施策[1]の自転車利用（再掲）とありますが、ここだけダブリで掲載する理由は何故でしょうか？関係する内容は他にも多々あります。	ご意見いただきありがとうございます。取組方針として他の基本目標にも関係するものは再掲としております。
	また、自転車利用を除けば、基本目標4施策1のタイトルは、「安全で健康に住める環境を守ります」あたりが妥当かと思えます。さらに、基本目標4のタイトルは、「安全で快適な環境を実現するまち」が妥当かと思えます。施策2取り組み方針1は、「景観に配慮したまちづくりを進めます」あたりが妥当かと思えます。	ご意見いただきありがとうございます。基本目標のタイトルに「安全」を含めていることから、施策[1]のタイトルは「安心」としてしております。また、「快適に安心して暮らせる」の中には健康も含まれていると認識しております。施策[2] 取組方針①は景観アドバイザーの活用や景観づくりセミナーの実施等の取組が中心となり、まちづくりそのものを推進していくわけではないことから現在の名称としております。基本目標4は生活環境に係る内容のため、タイトルを「暮らし」としてしております。
	仮称) 都市づくりマスタープランには、環境マスタープランには掲載されない市街地や住宅地の緑被率や街路樹の割合なども盛り込まれているのでしょうか？	ご質問ありがとうございます。(仮称) 町田市都市づくりのマスタープランでは、東京都の掲げている目標と整合を図り、みどり率を目標に設定しています。また、都市部のみどりに関しては、都市拠点の緑視率を把握する予定です。
渡邊委員	P26-27 体系図も重点プロジェクト同様わかりやすくなり、ここに重点プロジェクトを加えたことで、重点プロジェクトとの繋がりができて一体感が生まれました。	ご意見いただきありがとうございます。
	・基本目標 1 施策 3 取組方針から「⑥エネルギーの地産地消を検討します」が消えてしまいました。農作物の地産地消と同様に重要な考え方であると思うので、この文言を何らかの形で残してほしいです。削除した意図がある場合、その経緯をお聞きたいです。	ご意見いただきありがとうございます。実施予定の取組が■取組方針① 新たな再生可能エネルギー導入の仕組みづくりを進めますと重複すること、また、計画全体の見やすさの観点から統合してしております。
	P33-34「施策[1] 省エネルギーの普及・導入を進めます」について市民や事業者の取組として建築物のエネルギー消費性能向上を掲げていますが、特に建物の断熱による省エネルギーへの貢献度が大きいと考えられます。市の取組として、少なくとも今後建て替えられるすべての公共施設の高断熱化を掲げてほしいです。前回意見シートにも同様の意見を書きましたが、それでも採用されないとすれば、その理由と根拠をご明示ください。	ご意見いただきありがとうございます。市としても事業者の取組同様に、建物の改修・新設時は建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律を遵守いたします。さらなる取組は施設の用途等を考慮する必要があること、公共施設の整備・改修においては予算の範囲内で対応する必要があることから現状の記載とさせていただきます。また、市の事務事業に関する具体的な地球温暖化対策は町田市第4次環境配慮行動計画として取り組んでいく予定です。
P44～飼養動物に関する記載が一切無くなったように思います。不適切な飼育は環境に悪影響を与えそうですが、削除の理由は管轄する部署が違からですか？ 現行のアクションプランには記載があるため、削除の理由を教えてください。	ご意見いただきありがとうございます。愛玩動物の環境面への影響として、外来生物による影響が主となりますが、外来生物に関する記述は基本目標2 施策[1]の内容と重複することから削除してあります。また、市としての具体的な取組は動物愛護推進計画にて推進していきます。	